

寄稿

## 「ネットワークに期待すること」

内閣府 犯罪被害者等施策推進室 室長

殿川 一郎

我が国における犯罪発生件数は全体としては減少しているものの、通り魔殺人事件のような、社会を震撼させる様々な犯罪が跡を絶ちません。いったん犯罪被害に遭遇すると、それは被害者本人だけでなくその家族をも巻き込み、さらには犯罪による直接的な被害に加えて、いわゆる二次的被害に苦しめられることも少なくありません。

こうした被害の状況は、単に犯罪の種別や刑事事件としての重さだけで捉えられるものではなく、個別の事情により大きく異なるものであり、犯罪被害者が社会において再び平穏な生活を営めるようになるための支援は、こうした事情に応じてきめ細かく行われる必要があります。

しかし、このような支援は公的機関だけでは十分には行えず、民間の犯罪被害者支援団体の助力が不可欠です。

むしろ、柔軟な対応が要求されることからすれば、民間団体が特性を十分に発揮し、犯罪被害者支援の重要な担い手の一人となることが強く期待されていると言えます。

全国被害者支援ネットワークは、このような全国各地の民間支援団体の中核としての立場にあり、日本の犯罪被害者支援において大切な役割を果たして来られました。

改めて、これまでの御尽力に敬意を表しますとともに、引き続き皆様方が民間団体の特性を十分に活かし、その能力を十分に発揮され、全国の被害者支援の充実に貢献されますようお願い申し上げます。

内閣府 犯罪被害者等施策ホームページ

<http://www8.cao.go.jp/hanzai/>